

島田市のブランドメッセージとロゴが完成しました！

市では、地域独自の魅力や個性（アイデンティティ）を発信することを目的に「シティブロモーション」に取り組んでいます。特に昨年は、新市制施行10周年を迎えるにあたり、地域内外における島田市のイメージアップや他の自治体との差別化を図るため「島田市ブランド」の確立を進めてきました。

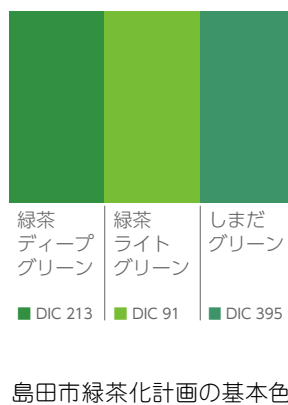
5月には、その旗印となるメッセージとロゴの製作を開始。市民と職員を交えたワークショップを全8回開催し、さまざまな可能性を議論しました。そして11月1日、島田の魅力として抽出された要素をもとに、ブランドメッセージ「島田市緑茶化計画」とロゴを決定しました。



島田の島を「縞」模様、島田の田を「田んぼ」の形、日本を「日の丸」の円、「大井川」を3本の青い縦線、3種のお茶（島田茶・金谷茶・川根茶）の「茶畑」を3本の緑の横線、そしてそれらを結ぶ「結」をロゴ化しました。

また、日本の伝統的な文様である「算木くずし」の柄にもなっています。

6つのロゴ「モチーフ」



市の色「緑茶グリーン」

島田市のブランドメッセージ「島田市緑茶化計画」のもと、市の色「緑茶グリーン」を使用したまちづくりを市民の皆さんと一緒に進めます。

島田市緑茶化計画の基本色

始まっています「緑茶化」

市内では、すでに「緑茶化」が始まっています。行政では早速、名刺・のぼり旗・横断幕などを作成。名刺については、誰でも利用できるよう、市ホームページ上でテンプレートを公開しています。また今月からは、広報しまだ裏表

始まっています「緑茶化」



海外向けロゴ



国内向けロゴ

ロゴマークをご利用ください

市民の生活や文化に深く根ざしている「お茶」をイメージ化しつつ、基本色を緑としました。島田市を全国にPRするためのロゴマークです。さまざまな場面で活用し、島田市の魅力アップにご協力ください。



国際陶芸フェスティバルを「緑茶化」



商品等の写真はイメージです。



子育て支援 ネットワーク

杉本 真美 さん

自ら手を挙げて参加したワークショップでは、市民にとっては当たり前のこと（例えば茶葉の冷凍庫保管など）が、他から見ると面白いという視点に気付いて新鮮でした。完成したロゴは「お母さんのカワイイ!」という印象です。今後ますます「お茶のまち島田市」というイメージが、世界に広がってほしいなと思います。

島田商工会議所 青年部

大石 洋一 さん



島田市の魅力の再認識と、今後は誰にアピールしていくかを、ワークショップで気付くことができました。イメージカラーを緑茶グリーンにしてみたり、ロゴもさまざまな場面で使えそうです。私は早速、新調したスーツの裏地とボタンホールを緑にしてみました。できることから、市民全員でこのシンボルをシェアして活用できればいいなと思います。

▼ 「緑茶化」のアイデアは無量大
ロゴの種類とパターンは16種類。高解像度画像や加工が必要な場合についても対応可能です。

▽島田市緑茶化計画「オリジナル名刺」を作ろう！
□ <https://www.city.shimada.shizuoka.jp/promotion/ryokuchakameisi.html>



市民有志が製作した緑茶化ユニホーム

紙に「ティーンエイジャー」と題して、お茶に関わる島田市民の常識を、市外から見た「非常識」として、面白く（少し大きめに）紹介していきます。
一方民間では、商品パッケージやステッカーなど身近なものだけでなく、ユニホームや工事用看板など意外なものまでが、既に登場しています。

ブランドメッセージとロゴの活用をご検討いただける場合は、まずは直接またはEメールで広報課へご相談ください。また、詳しい手続きなどについては、市ホームページの「手続きフロー」をご覧ください。申請いたしてから約3日（開庁日）で、画像データを お渡しできます。

▽島田市緑茶化計画「ロゴマーク」を使用できます！
□ <https://www.city.shimada.shizuoka.jp/promotion/ryokuchakarogo.html>

緑茶化のアイデアは無量大。小さな取り組みでも、集まれば地域活性化への大きな「うねり」が生まれます。
より詳しい使用方法は、市ホームページ「島田市緑茶化計画」サイト内の「使用マニュアル」をご覧ください。

□ <https://www.city.shimada.shizuoka.jp/promotion/ryokuchaka.html>
☎ 36-71188
✉ kouhou@city.shimada.lg.jp
④ 広報課

【海外戦略】「グリーンシティー＝シマダ」を意識付けるプロモーションを、スタイリッシュに展開。
【国内戦略】島田市の緑茶愛を、ユーモアをもって市外へ発信。緑茶を楽しめる観光スポットを開発。
【市内戦略】民間企業の協力を促すとともに、市の施設や発行物などを積極的に緑茶化して話題を創出。

